



桜の花がまだまだ通りのそこかしこに残っている四月の京都。全国各地からお集まりの支部長様役員会員の皆様は、どこか桜色に頬を染め、葉桜の樹木にも何かしら愛おしげに、また嬉しそうに微笑んでいました。一人ひとりが、いきいきと重なり合いお顔の見える意義深い集いでました。大谷ホールは、百花繚乱の花たちで眩しい限りの聞法の場となりました。

樹木たちも会員の皆様も、まさに遠い春を内に抱いて越冬したいのちの輝きを感じさせてくれた事でした。私達常任委員は、お迎えする準備を整え心待ちにしながら参加者皆様を“お待ち受け”!!

ご講師の酒井先生は、ご自坊で取り組んでおられる、こども会・グリーフケアのつどい・子育てサロンそしてこども食堂等など様々な活動を通して、現代社会において、一人ひとりの

生き方について又他者との関係性について具体的にお話しくださいました。悩んだり苦しんだりする私の心に残った言葉は『苦を免れるには その苦を生かしていく道を学ぶ事です』(蓬萊祖運師)でした。そして、「自分自身の事をしっかりと知る事が人生の宿題です」と紙芝居を通して教えてくださいました。

講義終了後、6班に分かれた座談会では、講義を中心にそれぞれ活発な意見交換がなされました。2日目は、ご本山の晨朝に参拝後、長浜の五村別院に参拝。ご輪番より別院の由緒をお聞きし、教如上人の墓所の改修について説明と懇意のご依頼をいただきました。一路昼食会場の「赤鬼」へ、近江牛に舌鼓。ひこにゃんの待つ彦根城へと辿り着く。怪我人病人も無く無事帰路につき盛り沢山の研修会でした。

大谷婦人会委員長 宮本 春美

# すみれ

## 二〇一六年度 大谷婦人会支部長・ 役員研修会

二〇一七年四月二十四日・二十五日開催(講師

東京教区存明寺住職

酒井 義一師

講題 いのちの声を聞く

こんにちは!  
わたし、  
すみれちゃんよ。



観念寺支部の皆さんに  
お迎えいただきました。  
草もちをござさまでした。



# 2016年度すみれ会

2017年2月9日開催(講師 四国教区善照寺住職 真城 義磨 師)

## 講題:大事と小事

いろんな方  
出会えて  
とても楽しかった



子どもと一緒に  
参加できて  
よかったです

かつて存在した「青年部」が担ってきた役割を再考し、お念仏を伝えるべく、全国の委員から推薦を受けた「次世代を担う」会員24名の参加のもと開催しました。

午前は講師が、「仏さまの教えを聞いて人生を尊く生きること(大事)を置き去りにして、自分中心に生きていこうとすること(小事)ばかりに気を取られ迷っている私たち。そのような弱い人間だからこそ、仏さまの教えをよりどころとして生きてほしい」と話されました。

楽しい昼食を共にした後は、班別座談を行いました。「大谷婦人会の存在は知りつつも、初めてその活動内容が分かった」という若坊守や、「みんな同じ悩みや問題をかかえているのだな」と感じた方々が多くおられました。

今後すみれ会は、毎年度継続して開催してまいります。



「大事と小事」と題した  
真城師のおはなし。



当日は保育室を  
設置しました。



大切な会食の時間。  
参加者同士が打ち解けました。悩みや課題を共有しました。



3班に分かれた座談。  
悩みや課題を共有しました。



2017年7月号から♪

## 月刊聞法誌『花すみれ』リニューアル!!



大谷婦人会は1890(明治23)年に創立されました。月刊『花すみれ』は1907(明治41)年機関誌『婦徳』として発行以来、1951(昭和26)年に月刊聞法誌『花すみれ』として現在まで続いている歴史ある聞法誌です。

毎月私たちの生活の中における、親鸞聖人のお念仏の教えがわかりやすく書かれています。「読みやすい!」「なんまんだぶつの教えが書かれている!」「ちょっとした合間に読める!」「お寺の集まりに最適!」「バッグに入れやすい!」数々の皆様のお声をいただき、このたび2017年度、7月号より、更に購読者の皆様も参加していただける楽しい誌面へと『花すみれ』がリニューアルいたします!



お申込み、お問い合わせ

大谷婦人会事務局 075-371-6181



充実した内容は  
そのまま、  
読みやすくなったり

軽いから、  
ハンドバッグにも  
入っていつでも  
読めるわね

2色刷りになって  
中面も読みやす  
くなったよ!



購読料 年間2,400円(送料込)

編集後記 (伊勢副委員長)

様々な大谷婦人会の聞法事業が進められています。「そんかとか 人間のものさし うそかまことか 佛さまのものさし」こんな掲示板を目にしました。私の生き方はお見通しなのだ、と。

通信すみれや『花すみれ』には、大谷婦人会の動き、支部の動きなども掲載されます。生きることの難しさ、人生の宿題とは?各地で聞法会が開催されていますので、一緒にお話を聞くことができたらうれしく思います。